

科目名	助産学特論 I Topics in Midwifery I
授業形態	講義・演習
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	春AB 月曜3,4限
単位数	2単位
担当教員名	岡山 久代 Hisayo Okayama 非常勤講師:立岡 弓子 Yumiko Tateoka 所 恭子 Kyoko Tokoro
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	岡山 久代 4B棟 509 okayama@md.tsukuba.ac.jp オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること
授業の到達目標 (学習成果)	助産診断をすることの意味を述べるができる。 妊娠期における助産診断に対して、根拠をもって診断条件を列挙することができる。 分娩期における助産診断に対して、根拠をもって診断条件を列挙することができる。 産褥期における助産診断に対して、根拠をもって診断条件を列挙することができる。 母乳育児のアセスメントができる。 新生児期の助産診断に対して、診断条件を根拠をもって列挙することができる。
他の授業科目との関連	
履修条件	受講は、助産師国家試験の受験資格を得ようとする学生に限る。
授業概要	ローリスク妊産婦および新生児・乳児に対して、高度専門職者としての質の高い助産実践と確かな診断をするための知識・技術および問題解決能力を習得する。助産師の倫理、助産診断とは、妊娠期・分娩期の助産診断、妊娠期・分娩期の医学診断と治療、乳房の診断と母乳育児、産褥期・新生児期の助産診断、胎児・新生児期の医学診断と治療について学習する。
キーワード	助産診断 Midwifery diagnosis 周産期ケア Perinatal Care 周産期医学 Perinatal Medicine

<p>授業計画</p>	<p>文献クリティークを基本に行う。必要な事前準備をして講義に臨むこと。なお、グループディスカッションの時間を設ける。</p> <p>1 (4/15 3限) (助産師とは／助産師の倫理) (岡山)</p> <p>2 (4/15 5限) (助産診断とは) (岡山)</p> <p>3 (4/22 3限) (妊娠期の診断(1)) (岡山)</p> <p>4 (4/22 4限) (妊娠期の診断(2)) (岡山)</p> <p>5 (5/9 3限) (妊娠期の診断(3)) (岡山)</p> <p>6 (5/9 4限) (妊娠期の診断(4)) (岡山)</p> <p>7 (5/13 3限) (胎児機能不全と助産ケア(1)) (岡山)</p> <p>8 (5/13 4限) (胎児機能不全と助産ケア(2)) (岡山)</p> <p>9 (5/20 3限) (分娩期の助産診断(1)) (岡山)</p> <p>10 (5/20 4限) (分娩期の助産診断(2)) (岡山)</p> <p>11 (5/22 5限) (分娩の予測予測(1)) (立岡)</p> <p>12 (5/22 6限) (分娩経過の予測(2)) (立岡)</p> <p>13 (5/30 3限) (乳房の診断と母乳育児) (所)</p> <p>14 (6/3 3限) (分娩期の助産診断(3)) (岡山)</p> <p>15 (6/10 3限) (切迫早産の管理とケア(1)) (岡山)</p> <p>16 (6/10 4限) (切迫早産の管理とケア(2)) (岡山)</p> <p>17 (6/17 3限) (分娩誘発の管理とケア(1)) (岡山)</p> <p>18 (6/17 4限) (分娩誘発の管理とケア(2)) (岡山)</p> <p>19 (6/24 3限) 事例のアセスメントと診断(岡山)</p> <p>20 (6/24 4限) 産褥期と新生児期の助産診断の特徴(岡山)</p>
<p>学修時間の割り当て及び授業外における学修方法</p>	<p>講義(80%)と演習(20%)を併用する 講義ごとに課題を提示することがあるので、事前に確認すること</p>
<p>成績評価方法</p>	<p><評価方法と配分役割> 授業の到達目標の達成状況60%, 授業内での発表内容・参加状況40%</p> <p><評価基準></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切な問題を設定できる。 2. 設定した問題の背景を説明できる。 3. 設定した問題に対してどのような課題があるのかを指摘できる。 4. その解決策について、先行研究がどのように述べているかを挙げるができる。 5. 既存の意見をふまえて、自らの考えを述べるができる。 <p>上記に対応した評価基準は以下のとおりである。</p> <p>A+ 上記1～5を自身で達成できる。</p> <p>A 上記1～5をほぼ自身で達成できる。</p> <p>B 上記1～5を教員の指導を受けながら達成できる。</p> <p>C 上記1～5を教員の指導を受けながら概ね達成できる。</p>
<p>教材・参考文献・配布資料等 その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)</p>	<p>助産師基礎教育テスト 日本看護協会出版社</p>